

科 目 名

<h1>情報処理基礎</h1> <h2>Introduction to Computers</h2>
--

1年 前期 2単位 必修

青 木 孝 房

概 要

情報化社会と叫ばれて久しい今日において、コミュニケーション・プレゼンテーション・情報検索といった情報処理能力は必要不可欠である。本授業では、これから大学生活・社会生活をおくるうえで必要なコンピュータの基礎的な知識・操作を演習を通じて習得する。また、大学内のネットワーク利用方法についても解説するので学生諸君は全員履修すること。

学習目標

- (1) パソコン (Windows) の基本操作の習得
- (2) OA ツールの基本操作の習得 (ワープロ、表計算、プレゼンテーション)
- (3) インターネットの基本操作の習得 (メール、WWW)
- (4) ネットワーク社会における情報倫理の習得

授業計画

テ ー マ	内 容
① Windows の基本	オリエンテーション、タッチタイプ
② 日本語入力	日本語入力の演習
③ 文書の作成	簡単なワープロ文書の作成
④ 文書の作成	簡単なワープロ文書の作成
⑤ 文書の作成	課題演習
⑥ 表計算とグラフ	表の作成とグラフ表示
⑦ 表計算とグラフ	表の操作・関数
⑧ 表計算とグラフ	課題演習
⑨ 電子メールとインターネット	電子メールの操作 (ノート PC 保有者は持参のこと)
⑩ 電子メールとインターネット	インターネットの基礎、情報倫理、電子メール課題
⑪ ホームページの作成	WWW の基礎、1行ホームページ作成
⑫ ホームページの作成	自分のホームページ作成
⑬ プレゼンテーション	プレゼンテーションの作成
⑭ プレゼンテーション	プレゼンテーションの作成・発表、まとめ
⑮ 定期試験	

授業方法

1人1台のパソコンを使い演習形式で授業を進める。テキスト・補助テキストを配付する。
E-Learning ツール (WebClass) を使ってコミュニケーションを図る。

学習到達度の評価

授業の区切りでは課題又は成果物を提出させる。必要に応じて e-Learning ツールを使った小テストを行い、理解度をみる。

評価方法

課題を全て終了し、課題 (50点)・定期試験 (50点) の合計で評価する。60点以上を合格とし、満たなければ再試験を行なう。

教 材

- ・ 崇城大学電子計算機センター 編「情報処理基礎ガイドブック」

履修上の注意

- ・ 外部媒体 (USB メモリ、フロッピーディスクのいずれか) を使用するので、各自購入しておくこと。

「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ	必修/選択の別	学習保証時間
本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主として A 4・B 6 に関連する。	必修	22.5時間